

第30回例会報告(2月6日)

【出席報告】

- ・会員数 61名 ・出席数 37名 ・欠席数 24名
 ・当日出席率 68.63% ・前々回修正出席率 94.23%
 <欠席会員> 天野、青野、檜垣(巧)、平尾、冠、笠間、川上、宮本、村上(修)、野間、尾越、佐伯、白石(天)、竹田、寺町、八木
 [免除会員] 原、松本、中川、瀬野、曾我部、宇高、吉田、高木
 <1/23欠席補填> (1/20今治北)檜垣(圭)、板脇、尾越、渡辺(易)、(1/21今治南)伊藤、(1/23新橋)八木、(1/27今治北)坂本、渡邊(一)、(1/27松山北)原田、小池、松木、(1/28今治南)黒川、(2/3今治北)川上

- 会長報告・「今治1.17K O B Eに灯りを」の募金のお礼状が届いています。
 ・出席100%会員の表彰。記念品は、出席委員会でその人に合った物を選びました。
 幹事報告・地区大会本登録の案内；5月17日(土)~18日(日)、松山市にて地区大会。仮登録を変更する方は事務局へご連絡下さい。本登録締切は3月20日(木)です。
 ・全日本RC会員名簿(CD-ROM版)を購入希望の方は事務局へご連絡下さい。
 ・回覧物；2001-02年度RI・ロータリー財団年次報告、米山寄付明細、他
 親睦活動委員会報告・新会員歓迎会の案内；冠康秀会員、佐藤晃一会員、矢野暢生会員の歓迎会を2月20日(木)19:00~、根岸で開催。
 雑誌委員会報告・『ロータリーの友 2月号』の紹介 (松木徹夫委員長)
 RI会長メッセージ(横P10~13)、ポリオ撲滅募金キャンペーン(横P39)、「ロータリー100周年を目指して」(横P42)、「ロータリーの始まった日」(横P44)、「今、松山が旬」(縦P3)、本年度のRIテーマ“Sow the Seeds of Love”が国によって理解が違ふなど日本語訳に携わった佐藤千壽氏の講話「泥中の蓮」(縦P4)、楽しくユニークな例会を紹介した「例会を楽しくする工夫 ~ホノルルRC~」(縦P9)など。ぜひお読み下さい。また、ぜひ『友』に投稿をお願いします。

国際奉仕委員会アワー 久米操委員長

国際奉仕一般：最初に国際奉仕に類する活動が行われたのは第一次世界大戦の頃、ヨーロッパに出兵したアメリカのロータリアンの子弟に対するイギリスのロータリアン家庭によるホスト、避難民への物資補給や傷病兵の慰問などのボランティア活動。その後、1922年のロサンゼルスでの国際大会で国際奉仕の考え方が綱領に明文化された。ロータリーの国際奉仕の思想は、国家、思想、宗教などが複雑に入り交じって現実には一つとはいえない世界を、ロータリアンのFellowshipに基づいた相互理解によって一つのものにして、恒久的な世界平和を目指そうとするところにある。ロータリアンの国際奉仕は、国家間の緊張が高まりつつある時、紛争を防止する抑止力となる。世界社会奉仕：高木世界社会奉仕委員長から次のような内容のメッセージを預かっている。「ポリオの撲滅について、ロータリーの活動を一般の市民に呼びかけ広げたい。『おんまぐ』の時を利用して市民に呼びかけ理解して頂き、募金を集めロータリー財団に送ってはいかがか。」国際青少年交換：短期交換学生を迎え入れて無事に送り出すということが、いかに大変であるかがよく分かった。万一事故が発生した場合、為すべきこととその後の手続きには大変な苦労がある。ロータリー友情交換：ロータリアンとその家族が相互に訪問し合い、国境を越えた交流を通じて、国際理解・親善・平和を推進する。趣味職業別世界親睦：囲碁、ヨットなどの趣味をお持ちの方は、趣味を通じて世界の人々と親睦を図るのはいかがでしょうか。最後に、ビデオ「活動する国際奉仕」を見て、世界でどのようなプロジェクトが行われているかなどについて理解を深めた。ロータリー財団や米山奨学会への寄付も国際奉仕活動の一つです。ご協力をよろしく。

- <ゲスト> 米山奨学生 高綉紡氏
 <来訪ロータリアン> 今治南RC；山本政孝氏、今治北RC；赤尾宣宏氏

次回例会(2月13日)

[外部卓話] 日本銀行松山支店 支店長 中島毅氏
 「1980年代米国企業における競争力回復のための経営努力」

<会員誕生日> 坂本 昌平氏(2/18)

[献立；タイガー]